

## 特徴的な地方公共団体の未婚率と有配偶出生率の状況等

	合計特殊出生率		未婚率 (25-39女性)		有配偶出生率 (15-49)		基本的な特徴	関連する指標、要因・背景等
	率	順位	率	順位	率	順位		
(全国)	1.42		37.7%		79.4			
沖縄県	1.86	1	37.6%	38	115.8	1	未婚率は全国平均並みであるが、有配偶出生率が極めて高い (結果として、全国で最も合計特殊出生率が高い)	・第1子の出生率が高く(1位)、第3子以降の出生率が極めて高い(1位) ・出生順位ごとの母の平均年齢が総じて低い
宮崎県	1.69	2	33.8%	13	93.5	3	未婚率が比較的 low、有配偶出生率が比較的高い (合計特殊出生率が高い)	・第2子(4位)、第3子以降(2位)の出生率が高い ・男女ともに平均初婚年齢が低く(男性2位、女性3位)、出生順位ごとの母の平均年齢が低い(第1子4位、第2子2位、第3子3位) ・通期時間が短い(1位)
島根県	1.66	3	32.9%	6	86.7	9		・第1子(3位)、第2子(1位)の出生率が高い ・週60時間以上働く雇用者の割合が最も低く(1位)、通期時間も短い(2位) ・女性の有業率と育児をしている女性の有業率の差が小さい(1位) ・保育所の整備率が高い(2位) ・隣の鳥取県に比べて昭和60年以降の未婚率の上昇幅が小さい
福井県	1.55	12	31.9%	1	80.9	19	未婚率が最も低く、有配偶出生率がやや高い (合計特殊出生率がある程度高い)	・男女ともに平均初婚年齢が低い(男女ともに3位) ・保育所の整備率が高い(1位) ・若年男性のパート・アルバイト割合が低い(2位)
山梨県	1.43	32	34.9%	22	76.4	35	出生率は全国平均並みを維持しているが、昭和60年頃に比べて有配偶出生率の相対的水準が大きく低下(9位→35位)	・男女ともに平均初婚年齢が比較的高い(男性41位、女性37位) ・第3子出生時の母の平均年齢が比較的高い(43位)
秋田県	1.34	38	34.4%	18	67.2	47	未婚率は全国平均並みであるが、有配偶出生率が極めて低い (合計特殊出生率が低い)	・近年の出生率の上昇が最も小さい(47位)
奈良県	1.27	44	39.6%	43	73.0	45	未婚率がかなり高く、有配偶出生率がかなり低い (合計特殊出生率が相当程度低い)	・週60時間以上働く雇用者の割合が高く(41位)、通期時間が長い(43位) ・大阪圏のベッドタウンの面で類似する滋賀県に比べ、昭和60年からの未婚率の上昇幅が大きく出生率に差が生じている
北九州市	1.50		37.9%		87.9		未婚率は全国平均なみ、有配偶出生率はやや高い (政令市のなかでは、合計特殊出生率が比較的高い)	・平均初婚年齢(男性30.2歳、女性29.0歳)、出生時の母の平均年齢(第1子29.6歳、第2子31.6歳、第3子32.5歳)ともに、概ね全国平均なみ ・政令市の中では比較的合計特殊出生率が高い
東京都区部	1.07		48.4%		76.5		有配偶出生率はやや低い程度だが、未婚率が極めて高い (合計特殊出生率が極めて低い)	・第2子、第3子以降の出生率が比較的低い(東京都区部:第2子0.36、第3子0.10、札幌市:第2子0.38、第3子0.14) ・平均初婚年齢が比較的高く(東京都区部:男性32.3歳、女性30.5歳、札幌市:男性31.0歳、女性29.6歳)、第1子出生時の母の平均年齢が比較的高い(東京都区部32.2歳、札幌市30.7歳) ・若年女性集中度が高く、若年女性転入超過数が多い
札幌市	1.08		45.3%		72.8			

※ 順位は、都道府県間の比較による順位である。